



Collector

Attack on Titan unofficial fan book #14

白くて丸い小石

装飾のある
古びたボタン

曲がった金色のペン

何かの陶器のかけら

まだガキだった頃

そんな
しょうもねえ物を
集めていた

瓶の中に少しずつ
溜まっていく
そのガラクタを

窓辺で
眺めるのが
楽しみだった

あの瓶をその後
どうしたのか
覚えていない

それ程大事な物では
なかったのだろう

俺にとって
収集物とは

その程度のものだ



リヴァイ

カ...



便宜上の役職に
大した意味は
ねえだろ

で
何の用だ？



体術指導か？
兵士長になっても
やることは
変わらないな

ミケ



ああ
エルヴィン団長が
お呼びだ
リヴァイ兵士長との

うぜえ言い方
しやがって





エルヴィンが俺に
執着してるとでも
？

そうだ



はっ
そんなわけ
あるか

知らないのか？

あいつは一度
執着し始めたら
とことん拘るタイプ
だぞ



地下街でお前と
会った時の
奴ときたら

特大のカブトムシを
見つけた子供みたいなの
瞳をしていたよ

あれ以来ずっと
お前に夢中なのさ



…ありがとう

えっ
ああ

時々
かわいいん
だよなコイ



でけえくせに
器用だな

ふふふ



気色悪い…

ほら
これでいい



気に食わねえんだよ

いつも俺の頭の上に野郎の名前がひっついてくるのが

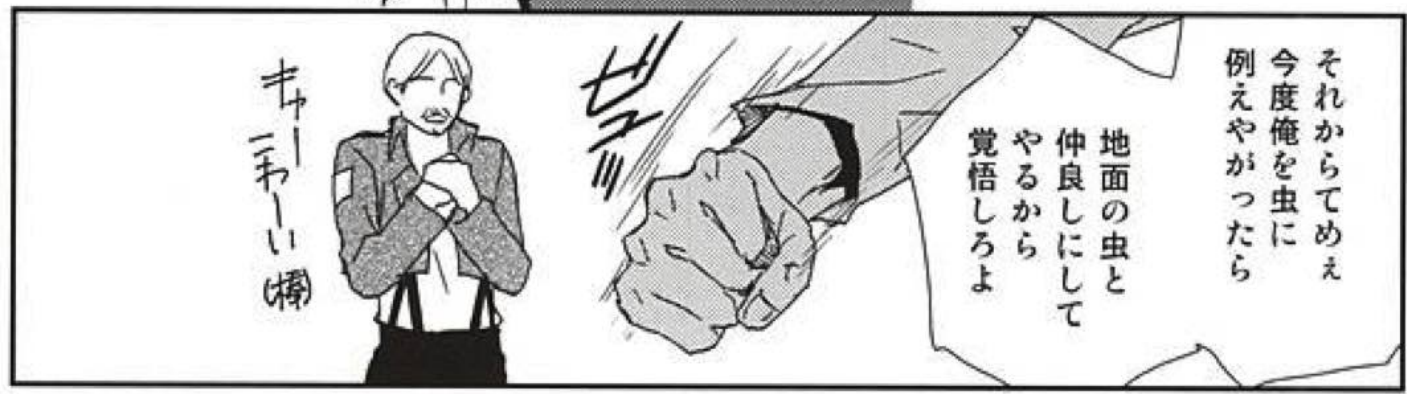


ああ言っておくがミケ

俺がエルヴィンに連れて来られただの何だのとふれて回るなよ

別口
一言も

何故だ？



キヤーい構

それからめえ今度俺を虫に例えやがったら

地面の虫と仲良しにしてやるから覚悟しろよ



違うぞエルヴィン！
手当てした
だけじゃ
！！

あいの
コク



兵士長とは異例の配属らしいが…エルヴィン？

はい



ほう

君が噂のリヴァイかね



分隊長にするには彼は突出して武勲を上げ過ぎており

また世間にも名が知れ渡り始めていますので



うむ 調査兵団の広告塔にもなり得るか
妥当な判断だな

恐れ入ります

何の用事かと思つたら貴族のご機嫌伺いかよ



君が貴族ならば優れた美術品の収集家になつただろうに

ははは…



しかし君は有能な人物を見出すのが上手いな

まさか地下の貧民層に英雄候補が埋まっていようとは誰も思わんと大した目利きだ



地上に出られて
幸せだろうか？

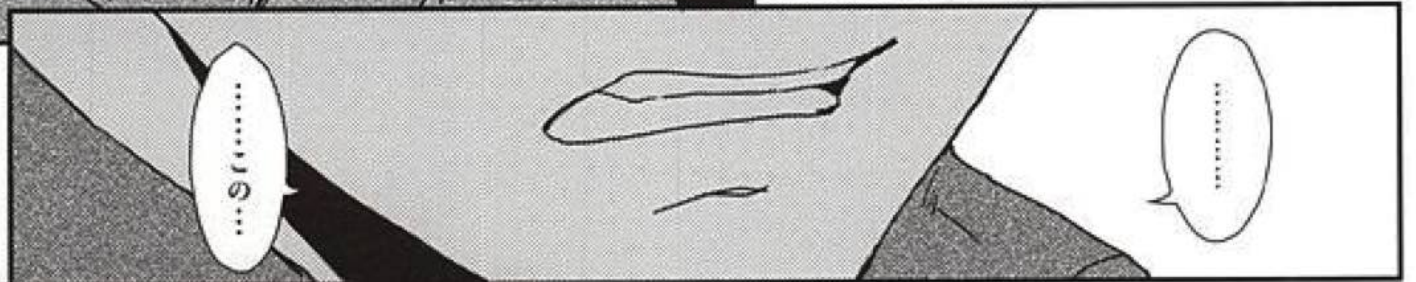
鼠がようやく
人間になれたような
ものだからなあ



エルヴィンが
いなければきつと
今も穴蔵生活だ



君も彼に
感謝しなければな
りヴァイ



……この……

……



閣下

彼はあまり会話が
得意ではないのです
ご容赦ください

おお
そうか



せっかくの逸材だ
大事にしたまえよ

簡単に失われて
しまつては
残念だからな

君のこれまでの
収集のよ様に

おい
エルヴィン!

てめえはいつも
あんな豚野郎に
媚びへつらってん
のか!?

だが一応
兵士長として
顔見世しておかない
とな

地下よりひでえ
空気だったぜ
クソが!

どういう
クソな心境になれば
畜生と言語が通じる
ようになるのか

是非
ご教示願いてえ
もんだな!

あれでも
兵団を支援する
議員の一人だ

出資さえしてくれば
愛想を振り撒いて
ご機嫌をとるぐらい
どうということはない

そう言うだろうと
思ったよ

収集だと…
人を物のように
言いやがって

彼には
俺の人材集めが
趣味にでも
見えるんだろう



俺はてめえの
収集物になった
覚えはねえ！



確かに優秀な人材は
いつだって欲しい

その点だけでなら
俺は収集家なの
かもしれんが



どいつもこいつも
俺がお前の付属品
みたいな言い方を
しやがる

降伏したただの
軍門に下ったのだと
けったくそ悪い！

どうした
余程気に障った
ようだな



どっちにしても
気色悪いことには
変わりがねえ

逆に俺がお前の付属品
と言われる日が
来るんじゃないか？



そのうち誰も
そんなことは
言わなくなるさ

現にお前の名前は
一人歩きしてる
状態だ



気に入らなければ
いつでも出て行く

俺は誰かに
首輪を付けられた
犬じゃあねえ!



いいか?
俺は自分の意志で
調査兵団にいるん
だ

属している以上
規律には従うが...



...ああ
わかってる



好きにすれば
いい



俺はお前を
縛ったつもりは
ない

嫌になれば
離脱する自由が
お前にはある



...ふん



あ？

お前が逃げたら
俺は追うがな

ただし

出て行く自由が
お前にあるなら
俺にだって追いかける
自由がある



てめえ…
そりやあつまり

俺に兵団を出る
権利はないと
言ってるも
同然じゃねえか

そうは
言っていない

だったら何…



仕方ない
だらう？

俺はもう
お前という人間を
見つけてしまったん
だ

今更
手放せるか



あの豚議員から
金をむしり取るのと
同じ要領でな!

俺が最も
巨人を殺せるし
兵団の宣伝塔と
しても使えるから

とことんまで
利用しようって
腹だろう



は…

てめえの
言いたいことは
よくわかった



お前の頭ン中じゃ
俺もあいつも
大差ねえってわけか



何す…



!?



…あの愚昧な男と
お前が同列だと…?

……

リヴァイ
お前は今まで
俺の何を見てきた？

俺がいつお前を

あの薄汚い
間抜け野郎と
同じに扱ったって
いうんだ!?

あいつは
金以外には
何の価値もない

だが
お前は違う

オイ……!

お前を手に
入れるためなら
俺は自分の命を
引き換えにしてもいい

俺はどうしたって
お前が欲しいんだ!!

エル……



お前は
人類を救うための
力を持っている

それを看過する
ことは俺には
できん



結局
それかッ!!



お前は俺を
本当に人間だと
思ってるのか!?

バカに
しやがって!



お前こそ何を
言ってるんだ？

まさか
情とか愛とか

そんな柔らかか
あやふやなものが
欲しいってのか？

違うだろう？

お前が
欲しいのは

本物の自由
じゃないのか？



お前の望みと
一番近い場所に
いるのは俺だ

叶えるために
お前が俺を
利用すればいい



巨人の脅威を
排除した壁のない
世界

それを見るために
ここにいるん
だろう？



その代わり
俺以上の者が
現れるまでは

!!

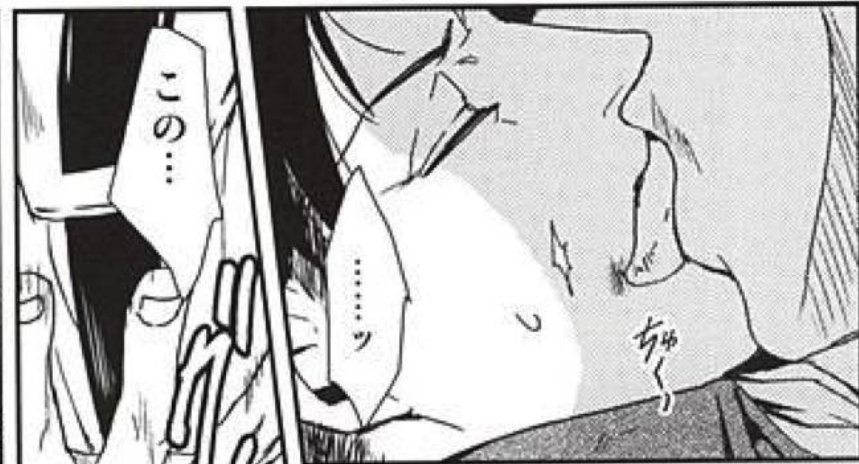


な…



お前は
俺のものだ

リヴァイ











バカ野郎…ッ

巨人狂い

ベテン師

利己主義者!



…どうでもさ



あ…ア…

…クソッ

聞いているのか
このゲス野郎!

ああ
聞いている

否定はしない

それに…今は
何を言われても





エルヴィン...

はっ

...あ

んっ

ア...も...と

深く...

...淫乱



お前が...

言っただろうが

深く繋がりにえ
...って...

来いよ



あア…ツ!

うあ
あッ…



エルヴィ…ツ

エルヴィン…!

やっ
あ…ツ



…お前は執着心が
強い奴だと
ミケが言ってたが

本当のこと
だったな





そうしたら
お前を人類の
ためではなく

本当に
俺だけのものに
できるじゃないか

は!?



お...

お前...何を...

当然の...
...ように.....



俺はもう

お前を見つけて
しまったんだから



俺はお前の
持ち物じゃ
ねえぞッ!!

仕方ない
だろう?

